

平成29年度予算見積調書

課室名: 畜産安全課
 担当名: 畜産振興担当
 内線: 4193

(単位: 千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B32	「彩の国地鶏タマシャモ」血統更新事業			一般会計	農林水産業費	畜産業費	畜産振興費	畜産経営改善対策費	
事業期間	平成27年度～平成32年度	根拠法令	養鶏振興法				挑戦項目	09	儲かる農業の推進
							分野施策	040937	強みを生かした収益力ある農業の確立
1 事業の概要 彩の国地鶏タマシャモの生産効率を向上させるため、血統を更新するとともに、機械整備を行いヒナの安定供給を図る。 また、農業高校と連携して鳥インフルエンザのリスク回避を行う。 (1) 彩の国地鶏タマシャモ開発研究事業 5,062千円 (2) 農業高校連携推進事業 429千円				5 事業説明 (1) 事業内容 農業技術研究センターが飼育する彩の国地鶏タマシャモの種鶏は血縁が濃くなり、産卵率や病気への抵抗力が低下し、ヒナの生産効率が悪化している。そこで、他系統のシャモを導入してタマシャモの血統を更新するとともに、効率的生産のための機械整備を行い、ヒナの安定供給を図る。 また、農業高校と連携し、鳥インフルエンザのリスク回避のための種鶏の分散飼育を行い、タマシャモの維持及び振興を図る。 ア 彩の国地鶏タマシャモ開発研究事業 5,062千円 他系統シャモ導入による血統更新 イ 農業高校連携推進事業 429千円 農業高校における種鶏の分散飼育 (2) 事業計画 平成27年度～ 彩の国地鶏タマシャモ開発研究、種鶏分散飼育、設備修繕、機械整備 (3) 事業効果 血統更新によって生産効率が改善し、ヒナの安定供給が図られる。 さらに、分散飼育によって鳥インフルエンザからの危機回避が図られる。 平成27年度 35,010羽 → 平成32年度 40,000羽 (4) 県民・民間活力、職員のマンパワー、他団体との連携状況 彩の国地鶏タマシャモ普及協議会（生産者、食鳥処理業者、販売業者、行政機関）と連携し、タマシャモの生産拡大を推進する。 また、農業高校と連携してタマシャモの維持及び振興を行う。					
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)									
3 地方財政措置の状況 なし									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×0.3人=2,850千円									
				財 源 内 訳				一般財源	前年との対比
予算額									
決定額	5,491							5,491	△946
前年額	6,437							6,437	